

「まいにち笑顔 みんなが笑顔」

35日間という長い夏休みが終わり、今日から2学期がスタートしました。今年の夏休みは、3年ぶりに行動制限のない休みとなったので、家族で遠くに出かけた人も多かったのではないかと思います。そんな中、夏休みには残念なニュースも多くありました。毎日発表されるコロナの新規感染者数が過去最高を更新したり、東北地方を中心にした線状降水帯による水害や川や海での水難事故などを耳にしたりする度に、七小の子供たちは大丈夫かなと心配しました。

その新型コロナウイルス感染症ですが、第7波のピークは越した感じがしますが、まだまだ収まっていない状況です。手洗いや消毒、マスクの着用、密閉・密集・密接の三密を避けるなど、基本的な感染症対策は引き続き行っていきましょう。ただし、少し落ち着いてきたとはいえ、まだ暑い日もあると思います。また、これから七小体育の日に向けた練習も始まってきます。そんな時は、熱中症にも十分に注意し、マスクを外すようにしましょう。マスクを外した時は、友達との間を空けるか、お話をしないようにして、コロナ感染症にも気を付けていきましょう。

さて、2学期の始めにあたり、次の絵や写真を見てみましょう。(画面共有)
これは何をしているところでしょうか。

①あいさつ ②話を聞く・姿勢 ③下足箱の縁に靴のかかとを揃える

他にもたくさんありますが、これらは1学期に皆さんが当たり前のようにできていたことです。校長先生が七小に来た時に、「当たり前のことだけど、それを当たり前でできる七小の子供たちはすごいな」と思っていました。2学期は学校に来る日が82日で、1年間で一番長い期間になっています。この4か月の間では、調子のいい時があれば、悪い時もあると思います。頑張れるときもあれば、気持ちが緩むときもあると思います。でも、どんな時でも「当たり前のことを当たり前でできる」人は本当にすごいと思います。それができるようになるには、日頃から意識して取り組むことです。このことを「**凡事徹底**」と言います。凡事徹底すると、意識しなくてもできるようになり、それが「当たり前」になります。「当たり前」のことができる人は、いずれ、誰も真似ができないような行動がとれるようになります。

もう引退しましたが、アメリカの大リーグで活躍した野球のイチロー選手も、子供のころから、寝る前にたった10分の素振り練習を当たり前のように毎日繰り返したそうです。もちろん、その他の練習も人一番頑張ってはいましたが、つらい練習もイチロー選手にとっては「**凡事**」になっていたようです。

長い2学期、小さなことでも「**凡事徹底**」することで、大きく成長できます。まずは、「**当たり前**」のことをしっかり意識して取り組んでいきましょう。